

特別の教育課程編成について（英語活動の実施）

1 岡崎市における教育課程特例校指定の沿革

岡崎市では、英語で自分の思いや考えを伝え合うことができる「英語が話せるおかざきっ子」の育成を目指し、平成22年度より教育課程特例校の指定を受け、小学校第1学年から第6学年で「英語活動」を実施してきました。

平成31年度以降、学習指導要領の先行実施に伴い、第5、第6学年で外国語科の授業時間数が週2時間に増えたことを受け、教育課程特例校による特別の教育課程の編成を小学校第1学年から第4学年までに変更しました。

2 岡崎市における小学校第1学年から第4学年での取組

現在岡崎市では、小学校第1学年から第4学年において「英語活動」の授業を行っています。

第1学年と第2学年では、「生活科」の時間を35（第1学年は34）時間を「英語活動」に充てています。小学校第3学年と第4学年では、「総合的な学習の時間」35時間を「英語活動」に充てています。

【資料1】岡崎市の教育課程（基本案）

区 分	各 教 科										特別の教科 道徳	特別活動	総合的な学習の時間	外国語活動 + 英語活動	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語					
第1学年	306		136		68	68	68		102		34	34		0+34	850
第2学年	315		175		70	70	70		105		35	35		0+35	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105		35	35	35	35+35	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105		35	35	35	35+35	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35	35	70		1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35	35	70		1015

各学年における「英語活動」では、毎日10分の帯時間に岡崎市小学英語研究委員会の自作DVD『OK English(約8分のDVD)』を視聴することで、週1コマの授業時間としています。DVDの内容は、英語の歌、フォニックス、リズムに合わせてネイティブスピーカーの後に単語や文を発音する活動、実際に動作をしながら学級の中で他の児童と会話をする活動など多岐にわたります。各学年の発達段階を考慮しながら、学級担任とともにDVDを繰り返し視

【資料2】OK English



聴することで、英語の音や基本的な表現に慣れ親しんでいます。

3 本校の取組

(1) 外国語活動の指導計画と指導の重点について

① 全体計画

- ・ 文部科学省教育課程特例校として英語活動を位置付け、1年生から4年生まで、昼の帯時間（月～金10分）に英語タイムを設け、岡崎市のビデオ教材等を毎日視聴し、週1時間として実施します。
- ・ 3、4年生の外国語活動を、担任をT1、STをT2として、年間35時間実施します。
- ・ 1、2年生は担任・ALTと行う英語活動を、適宜の時間に実施します。

② 学年別指導の重点

- ・ 低学年 ALTと年間6時間の英語授業により、英語の音声に親しむようにします。
- ・ 中学年 担任とSTによる年間35時間の外国語活動により、「聞くこと」「話すこと」を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力の育成を図ります。

(2) 英語タイムの実際

大門小学校では、毎日13時30分から13時40分を「英・国・算タイム」として、1～4年生はDVD『OK English』の視聴をしています。この『OK English』は学年ごとに作成されており、1学年につき27セッションで構成されています。この時間になると、子供たちが振り付けを真似しながら英語を口ずさみ、楽しそうに活動している様子が見られます。映像を視聴しながらチャンツやリピーティングなどで英会話練習を行い、発音練習を繰り返し行いますが、少しずつ難易度が難しくなるように作られたDVDによって、児童は自然に、親しみながら英語を覚えていくことができます。